

オープン・アクセスと セルフ・アーカイビングに関する 著作権マネジメント・プロジェクト (SCPJプロジェクト2)

筑波大学附属図書館
情報管理課専門職員
齋藤 未夏

scpj@tulips.tsukuba.ac.jp

029-853-2470



0. 本日の内容

1. SCPJプロジェクト2とは
2. 活動の背景
3. オープンアクセスに関する
国内学協会の対応
4. SCPJデータベースについて
5. 方針策定とSCPJに関するFAQ
6. 学協会の皆様をお願いしたいこと



1. SCPJプロジェクト2とは

■ SCPJとは: Society Cop
国立情報学研究所の委託

■ 目的: 学術論文の機関リ

■ 概要:

- 学協会のオープンアクセスに関する方針について調査する
- 調査結果に基づき「学協会著作権ポリシーデータベース」
(SCPJデータベース: <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>) を
作成・公開する
- 学協会を対象としたプロモーション活動を行う

学協会誌掲載論文そのもの
(PDFファイルなど)を載せるものではなく、
学協会様のポリシー=方針
をデータベース化したもの

SCPJ

■ 実施体制: 筑波大学、千葉大学、
東京工業大学、神戸大学

2. 活動の背景①

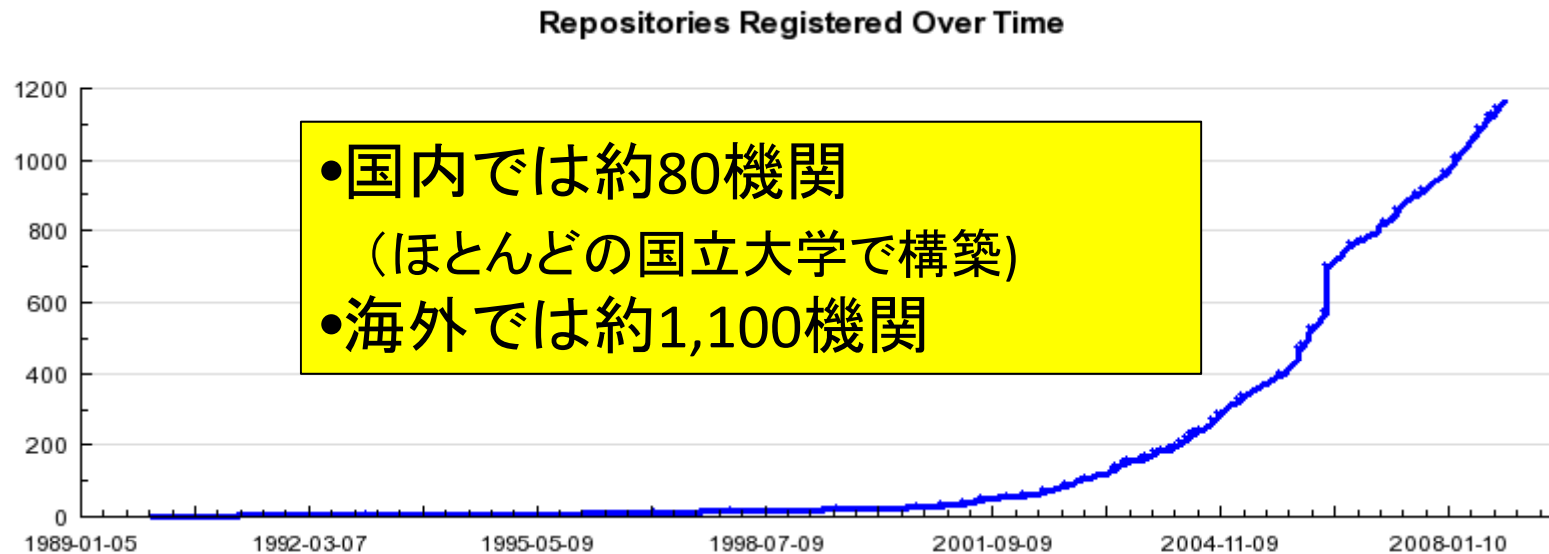
■ 機関リポジトリとは：

- 研究機関の研究成果としての知的生産物を収集・公開・保存するインターネット上に設けられた保存書庫。
- 学術雑誌の価格高騰を契機として、研究成果の流通を学術コミュニティの手に取り戻そうとする新しい学術情報流通モデル「オープン・アクセス」から生まれた。
- 学術論文の著者である研究者が、その論文を所属する機関のリポジトリに登録し、無償で公開することにより、研究成果へのアクセスが拡大し、そのインパクトを高めることができる。



2. 活動の背景②

■ 機関リポジトリの構築状況：



Registry of Open Access Repositories (ROAR)
<http://roar.eprints.org/>

2. 活動の背景③

■ 学術雑誌に掲載された論文を機関リポジトリに登録するには

- 著作権のうち複製権・公衆送信権について、著作権者の承諾を得る必要がある。
- 多くの場合、論文の著作権は、著者から、雑誌発行元の出版社や学協会に譲渡されているため、著作権者である出版社・学協会の許諾が必要となる。



2. 活動の背景④

■ 機関リポジトリに対する欧米出版社の対応:

- Elsevier, Springerなどを含む欧米出版社の約7割は、論文を機関のサーバから無料で公開することを認めている。
- ただし多くの場合、出版社がレイアウトした出版社版ファイルの登録は認めていないため、著者の手元にある著者最終原稿のファイルを登録している。
- 出版社の方針の多くは、SHERPA/RoMEOのWebサイトから確認できる。

<http://www.sherpa.ac.uk/romeo/>

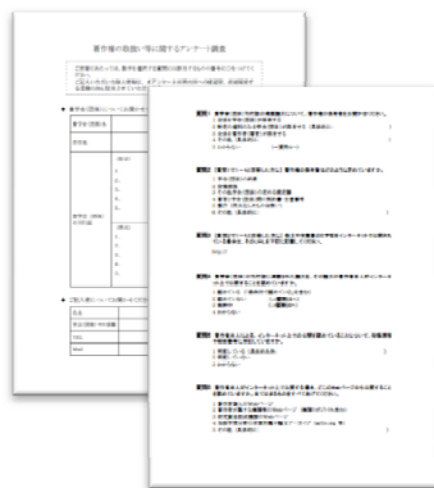


3. オープンアクセスに関する 国内学協会の対応①

■ 調査の実施

国内学協会(約1,800)を対象とした、継続的なアンケート調査

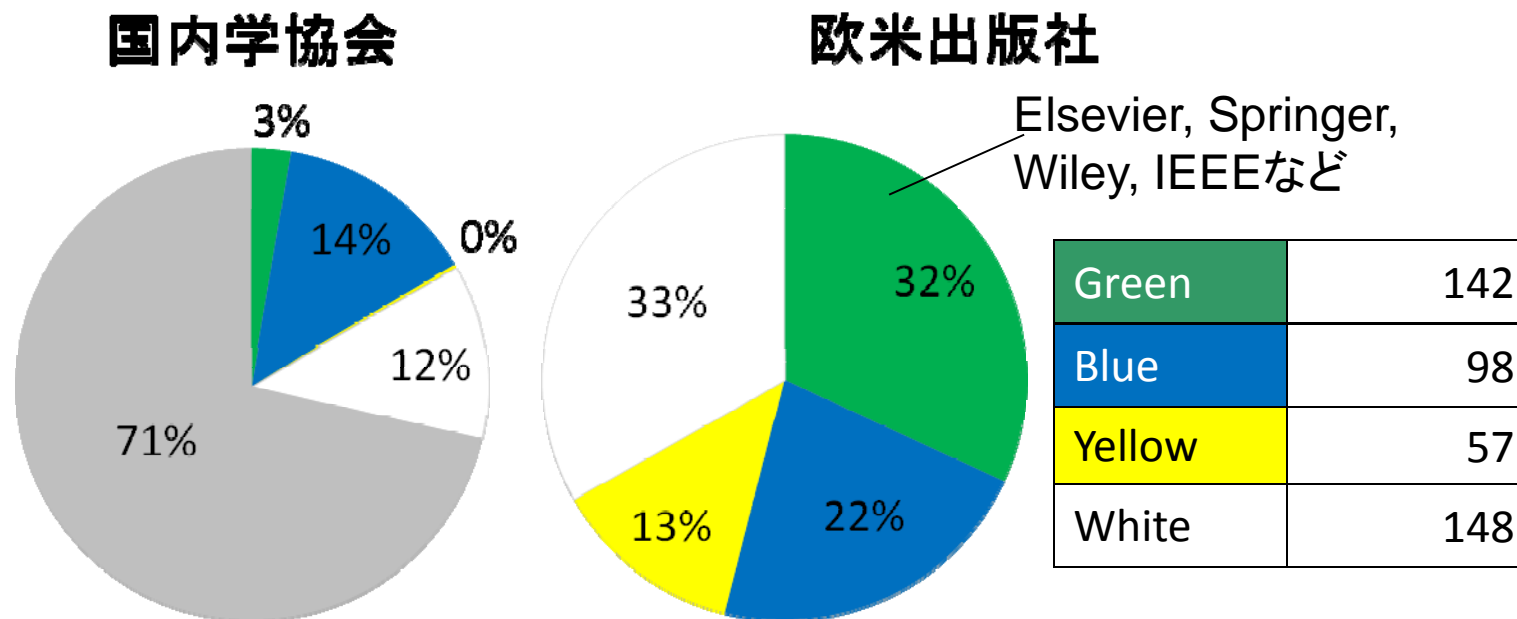
■ アンケート回答結果:



Green	査読前原稿・査読後原稿 どちらも登録を認める	49 学協会
Blue	査読後原稿のみ 登録を認める	250 学協会
Yellow	査読前原稿のみ 登録を認める	4 学協会
White	リポジトリへの登録を 認めない	216 学協会
Gray	検討中・非公開・ 無回答・その他	1,296 学協会

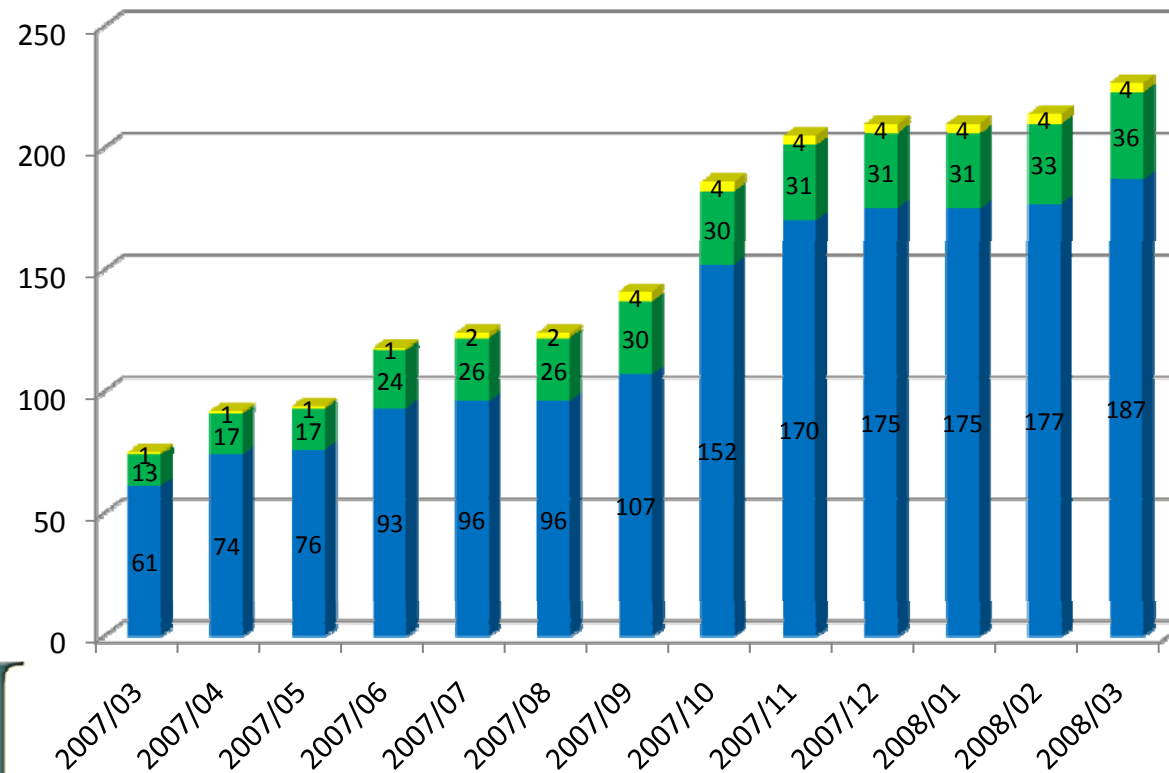
3. オープンアクセスに関する国内学協会の対応②

■ 日本と欧米の状況の比較:



3. オープンアクセスに関する 国内学協会の対応③

■ オープンアクセスを認める学協会の推移



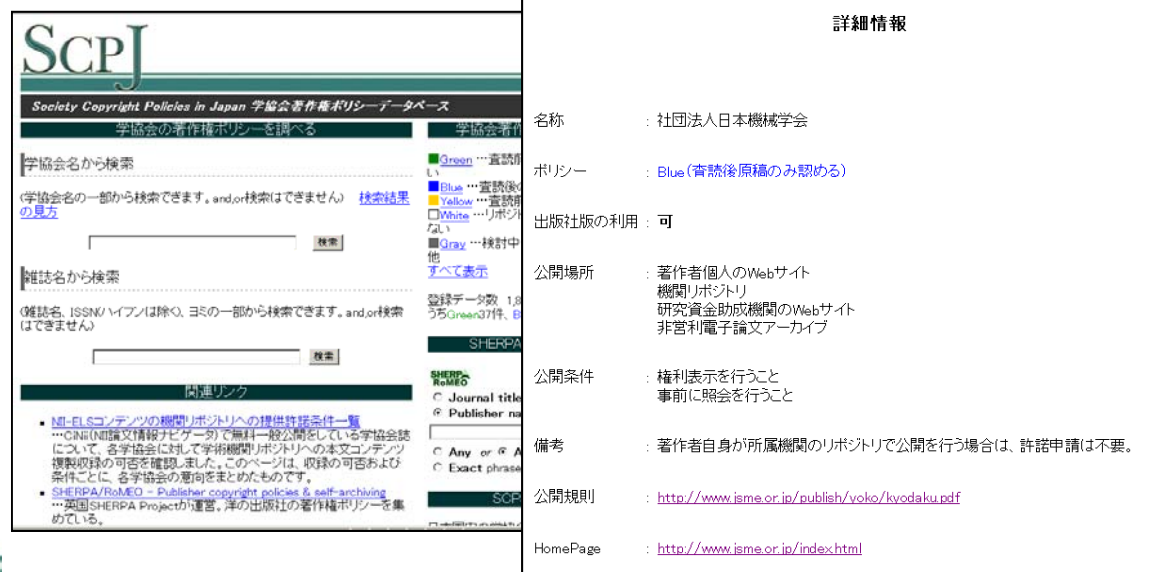
SCPJ

4. SCPJデータベースについて①

学協会著作権ポリシーデータベース

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>

- アンケート調査結果に基づき、国内学協会のオープンアクセスに関する方針を、データベース化して2007年に公開したもの。
- 学協会名・雑誌名(学会誌名)から検索可能。



The screenshot shows the SCPJ database search interface on the left and a detailed record on the right. The interface includes search boxes for '学協会名から検索' (Search by society name) and '雑誌名から検索' (Search by journal name), along with a '検索' (Search) button. The detailed record on the right is titled '詳細情報' (Detailed Information) and lists the following details:

詳細情報	
名称	: 社団法人日本機械学会
ポリシー	: Blue (青読後原稿のみ認める)
出版社版の利用	: 可
公開場所	: 著作者個人のWebサイト 機関リポジトリ 研究資金助成機関のWebサイト 非営利電子論文アーカイブ
公開条件	: 権利表示を行うこと 事前に照会を行うこと
備考	: 著作者自身が所属機関のリポジトリで公開を行う場合は、許諾申請は不要。
公開規則	: http://www.isme.or.jp/publish/voko/kyodaku.pdf
HomePage	: http://www.isme.or.jp/index.html



4. SCPJデータベースについて②

■学協会さま向けのページ



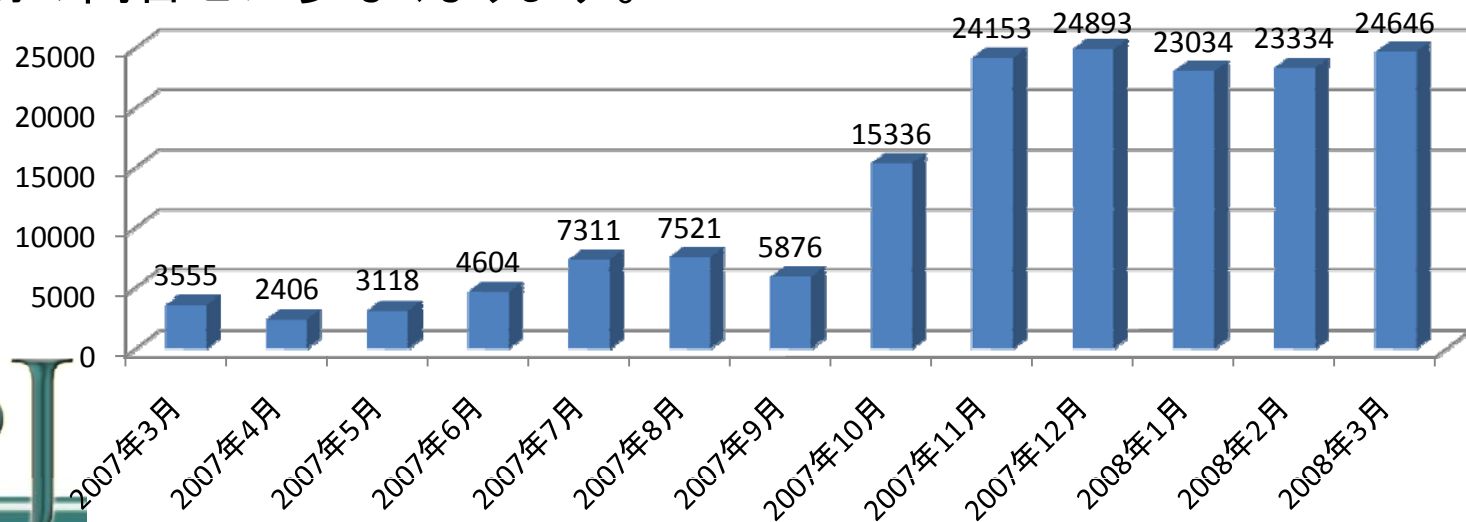
The screenshot shows the SCPJ website interface. At the top, the logo 'SCPJ' is displayed in a large, stylized font. Below it, the text 'Society Copyright Policies in Japan 学協会著作権ポリシーデータベース' is shown. A navigation link '<TOPへ戻る' is visible. A section titled '学協会様へのお願い' (Request to University Associations) contains a list of bullet points: '大学からの情報発信のために' (For information dissemination from universities), '海外との比較' (Comparison with overseas), '学協会様のご懸念' (Concerns of university associations), and '調査へのご協力をお願いします' (Please cooperate with the survey). Below this list, there are links for '調査票' (Survey form) in 'MicrosoftWord版' and 'PDF版', and a '送付先' (Delivery address) 'scp@tulips.tsukuba.ac.jp'. A section titled '大学からの情報発信のために' (For information dissemination from universities) contains a paragraph of text explaining the context of the database and the role of university associations. A section titled '海外との比較' (Comparison with overseas) is also visible at the bottom of the screenshot.



5. 方針策定とSCPJに関するFAQ

Q1. オープンアクセスに関する方針を、
SCPJデータベースで公開するメリットは何か？

A1. SCPJデータベースには大学関係者からの数多くのアクセスがあり、方針を公開させていただくことにより、機関リポジトリ担当者や教員からの学協会様への個別の問合せが少なくなります。



SCPJ

5. 方針策定とSCPJに関するFAQ②

Q2. リポジトリへの掲載を認めると 学会誌の売上低下につながるのでは？

A2. このことに関する明確なデータはありませんが・・・

- リポジトリに論文が掲載され多くの人々の目に触れるようになると、その論文の引用機会が増え、ひいては、その論文が掲載された会誌の価値が高まると考えられています。
- 論文引用の際には、実際の会誌で改めて正確な巻号次や掲載ページを確認するという声も、研究者の方から多く寄せられています。
- 「会誌発行後〇か月を経てリポジトリに登録すること」といった条件を規定している学協会さまもいらっしゃいます。



5. 方針策定とSCPJに関するFAQ③

Q3. 著者原稿ではなく、学協会誌に掲載されたときの形態の論文(「出版社版」)をリポジトリに掲載するか否かについてはどのように考えればよいのか？

A3. 学協会さまによってお考えは様々ですが、大きく分けて2つのお考えがあるようです。

- 学協会誌掲載の論文とリポジトリに登録される論文に違いを持たせるために、出版社版の利用を認めない
- 一つの論文に複数のバージョンが存在することのないよう、出版社版に限りリポジトリへの登録を許可する



6. 学協会の皆様をお願いしたいこと

- 貴学会のオープンアクセスに関する方針をお示しいただきたい
- その方針をSCPJデータベースで公開させていただきたい
 - 方針の文言は学協会さまのご希望に合わせて記述
 - ポリシーの変更もお知らせいただければすぐに対応

